

国際漁業学会 (JIFRS) 短信

<http://www.jifrs.info/>

事務局 〒631-8505 奈良市中町 3327-204 近畿大学農学部内

Tel : 0742-43-6021 Fax : 074243-6021 E-mail: jifrs.kindai@gmail.com

郵便振替番号 : 00100-6-26448 国際漁業研究会

三菱東京UFJ銀行富雄(トミオ)出張所 普通口座 3698979 国際漁業研究会

2015年度第1号

2015年6月3日刊

目次

- | | |
|---------------------------|-------|
| 1. 理事あいさつ「ズワイガニの研究者として」 | 東村 玲子 |
| 2. 2015年度JIFRS大会(三重大会)の案内 | 松井 隆宏 |
| 3. 学会賞(国内賞)候補者の推薦依頼 | 黒倉 壽 |

1. ズワイガニの研究者として

東村 玲子 (国際漁業学会理事・福井県立大学)

つい最近のことですが、何気なくウェブを見ていると、研究者の一覧の様なページに行き着きました。色々なお名前がありましたが、それぞれの研究者に「漁村社会」「所得補償」などの4つか5つのキーワードが並んでいるのに、東村玲子のキーワードは「ズワイガニ」だけでした。ちょっとびっくり致しましたが、その通りかもしれません。

私の研究は、本当に「ズワイガニがいる」と聞けば、どこへでも出かけて行くというスタイルです。そのため、カナダ大西洋岸のニューファンドランド島は、10回以上は行きました。米国アラスカ州のダッチ・ハーバーにも行きました。たまたま、カナダでは、IQによる管理、アラスカ州ではITQ(当地ではIFQ: Individual Fishing Quotaと呼ぶ)による管理が行われていました。また、日本ではTACは政府が決めるものの、その運用は業界団体が担っています。このため、漁業管理制度の比較というものにも深い関心があります。元々、故長谷川彰先生著『漁業管理』恒星社厚生閣(1985年)を読んで、漁業経済学の分野に進んだものですから、漁業管理自体には興味があったのです。

カナダ大西洋岸もダッチ・ハーバーも、ズワイガニの漁獲地であり、一次加工地です。1990年代半ば以降には、日本向けの物は中国でむき身やハーフポーションという足の一部を剥いた商品に再加工する様になって来たため、中国の煙台市や大連市も訪れました。さらには、中国では人件費が高くなっているため、インドネシアでも再加工が行われていると聞いて、去年はインドネシアにも行きました。

中国でもインドネシアでもズワイガニの再加工場だけではなく、他の水産物の加工場にも聞き取り調査と工場視察を行わせてもらい、東南アジアでの日本向け水産物の加工実態の研

究にも少しずつではありますが、取り組んでいます。

一方で、福井県と言えば「越前がに」というブランドガニの生産地ですから「水産物のブランド化」の研究にも、また取り組み始めました。

大学院生の頃に、「研究を行うには、何か自分の窓を持っていなければならない」と講演会にいらした先生がおっしゃっていたのを覚えています。この時の「自分の窓」とは、おそらく、もっと理論的なものを念頭においていらしたと思いますが、私の場合には、図らずも「ズワイガニ」が「窓」となりました。

そろそろズワイガニの研究を止めようかなと思ったりもしましたが、ロシアからの輸入が厳しくなった影響が日本海産のズワイガニの価格に大きな影響を及ぼしたり、バレンツ海でズワイガニの漁獲が始まったり、日本でもミズガニ漁獲を禁止について種々の意見が出たりするなど、話題が尽きないため、まだまだズワイガニの研究を進めようと思います。

国際漁業学会には、まさに諸外国で様々な研究を進めている研究者がたくさんおられますので、色々な視点を勉強しながら、しばらくは「ズワイガニの研究者」でも良いかなと思っております。

2. 2015年度JIFRS大会（三重大会）の案内

松井 隆宏（国際漁業学大会担当理事・三重大学）

2015年度大会は、「三重大会」とし、皇學館大学（伊勢市）と三重大学（津市）が協力しておこなうことになりました。電車で40分ほどの距離があり、参加者の皆さまにはご不便をおかけしてしまいますが、水産物、畜産物、そして神宮と、空いた時間にも様々な面から楽しんでいただけたと思います。

多くの会員、関係者のご参加をお待ちしています。

日時：2015年8月8日（土）～9日（日）

8月8日午前：神宮参拝（予定）、理事会、等

午後：シンポジウム「地域資源の価値創造と経営革新（仮）」（座長：東京海洋大学 婁小波・三重大学 松井隆宏）、懇親会

8月9日午前：個別報告（申し込み数が多ければ午後にも追加します）

午後：総会

会場：8月8日（土） 皇學館大学

8月9日（日） 三重大学

詳細なスケジュールや会場情報は、随時ホームページに掲載していきます。

大会参加費：一般会員 2,000 円、一般非会員 3,000 円、地元漁業関係者無料、学生無料
（懇親会費：一般 5,000 円、学生 3,000 円）

※懇親会へ参加される方は、7月15日までに国際漁業学会事務局 (jifrs.kindai@gmail.com) までお申し込みください。

※個別報告は、1報告あたり25分（質疑含む）の予定です。個別報告を希望される会員は、報告者の氏名、所属、および報告タイトルを添えて、6月30日までに国際漁業学会事務局 (jifrs.kindai@gmail.com) までお申し込みください。また、7月15日までに報告要旨（40字×25行以内）を、8月3日までに報告資料（当日までに改変可、事前に座長に渡します）を、それぞれメールで事務局まで提出してください。

※報告要旨集等は配布しませんので、要旨等は、各自で事前にホームページ (<http://jifrs.info>) からダウンロードをお願いします。（7月20日頃に掲載します）

3. 学会賞（国内賞）候補者の推薦依頼

黒倉 寿（国際漁業学会学会賞選考委員長・東京大学）

2015年度の学会賞候補者の選考を開始します。選考要領は下記の通りです。自薦・他薦を受け付けますので、積極的に推薦してください。賞の種類は以下の3種類です。

<功績賞>学会の活動に対して大きな貢献のあった会員。

<学会賞>書籍、もしくは一連のまとまった研究を通して、学術の発展に大きく寄与した会員（個人）。過去1年間（2014年1月～2015年4月）の業績が対象です。

<奨励賞>おおむね40歳以下で、本学会誌に掲載された論文、もしくはそれを含む一連の研究を通して、学術の発展に寄与した会員（個人）。本学会誌第13巻掲載論文（会誌としては未刊行ですが、on lineジャーナルの第13巻に掲載されている和文・英文の4件）が対象となります。

募集期間：2015年6月30日（火）締め切り

推薦方法：推薦する賞のジャンルとその理由（形式自由）を、JIFRS会長（多田稔 tadacom@nifty.com）宛てに、Eメールにて送付してください。

選考方法：会長が学会賞選考委員会に諮って候補者を決め、理事会の承認を得て決定します。

賞の授与：2015年度国際漁業学会大会の際におこなう総会にて授与します。受賞候補者には事前にお知らせしますので、ぜひ大会へのご出席をお願いします。